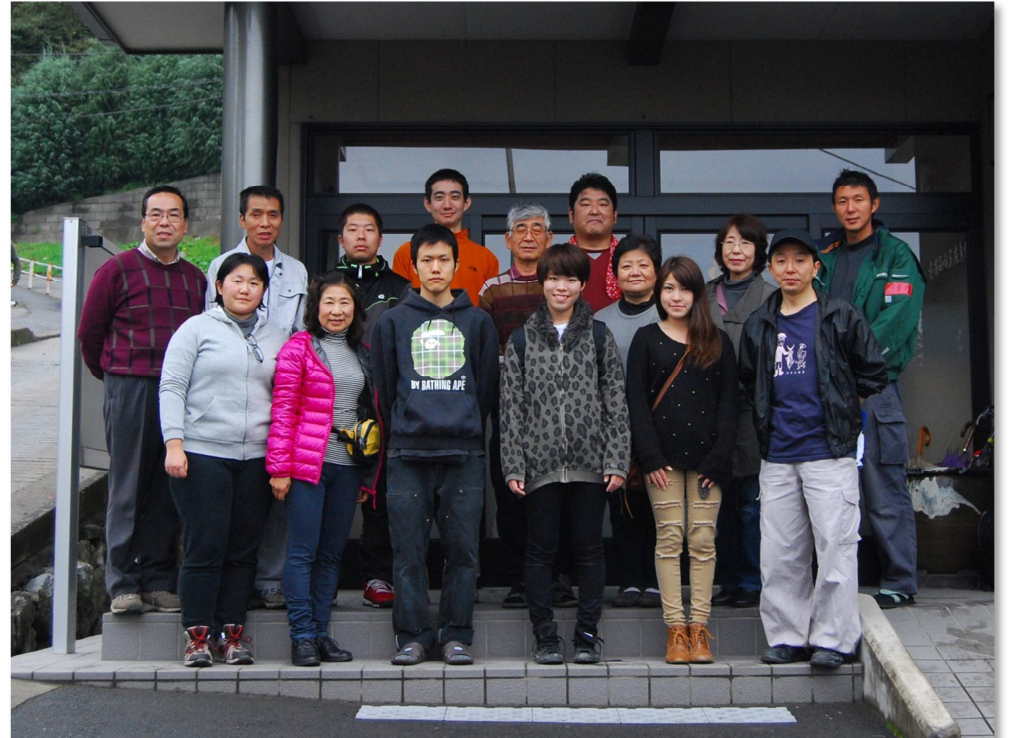


# 被災者の心に寄り添うボランティア活動を！

2011年3月11日に東日本大震災が起こり、首都圏災害ボランティア支援機構（以下、支援機構）では、気仙沼教会（宮城県）を拠点に、4月23日に第1回のボランティアを派遣してより、現在まで途切れることなく活動が行われており、ただ今は3年目の活動を進めています。

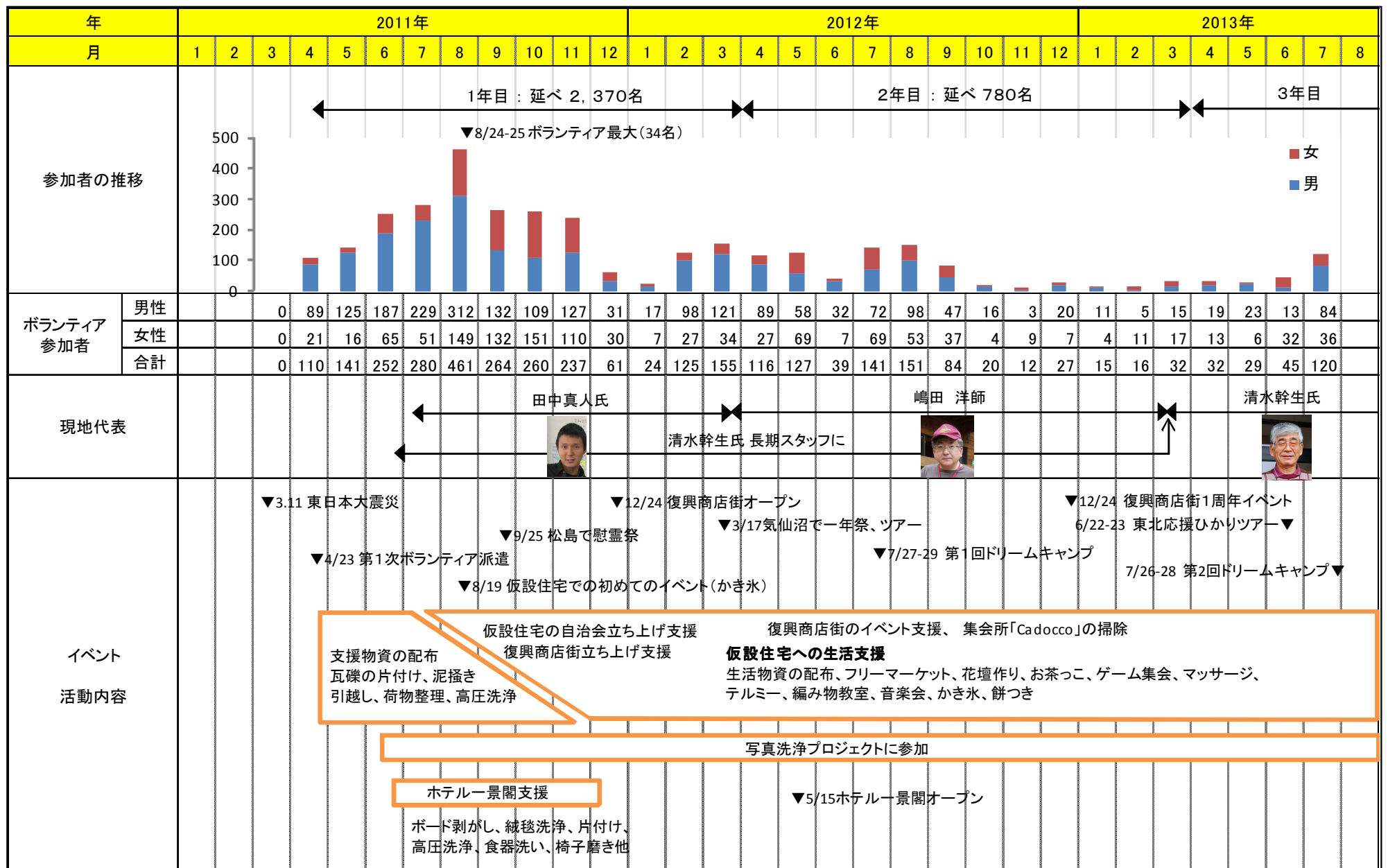
## ◆ボランティアの参加者数

- 1年目：延べ **2,370** 名
- 2年目：延べ **780** 名
- 2年間計：延べ **3,150** 名  
(現地代表を除く)



ボランティアが帰る時には記念写真を撮っています

表—1 気仙沼地区でのボランティア活動の変遷





東京センターから毎週土曜日にワゴン車でボランティアを送迎



ボランティア活動の拠点・金光教気仙沼教会



震災直後に掲示された「何とかなる」は、人々に勇気を与えた



2011.5.1 第2次ボランティアで、気仙沼市南町のがれき撤去や片付けを行う



2011.5.1 気仙沼市南町での活動。泥にまみれた商品を水で丁寧に洗う

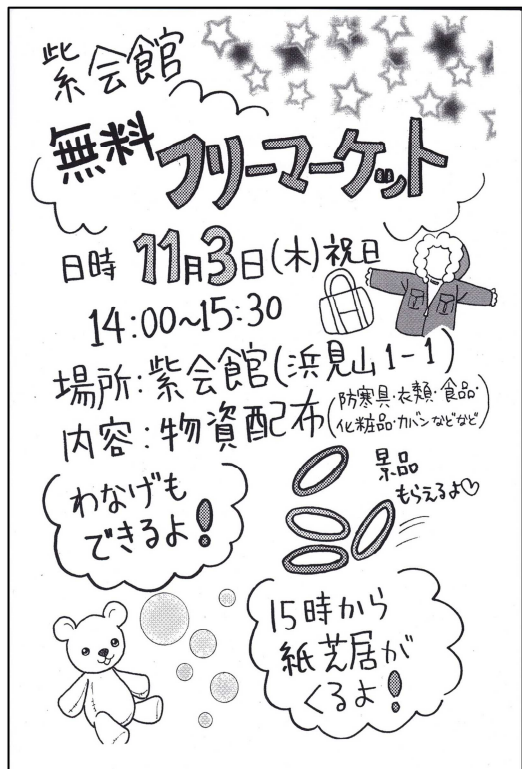


2011.6 気仙沼市南町での活動。がれき撤去や側溝の泥だし



ボランティアのために毎日お結びをにぎる（奥原美紀子さん）

## 紫会館前公園や仮設住宅で開かれたフリーマーケット



各戸に配布された案内チラシ



ここでも輪投げは人気



ネコちゃんもフリーマーケットに参加

衣類や日用品を中心としたフリーマーケットを開催。大勢の方に集まって頂きました。輪投げで景品をゲットでき、子供たちに人気でした。

## 仮設住宅でのその他の活動

その他、花壇作り、マッサージ、お餅つき、音楽コンサート、かき氷、ゲーム集会など、仮設住宅の方々と相談しながら活動を進めています。



東京寮生による花壇作り



恒例のお餅つき



お餅でお茶っこ



2011.10 出来上がった花壇の前で記念撮影



2012.12 羽田太鼓の演奏



仮設住宅で出会った女の子とシャボン玉遊び。首都圏災害ボランティア支援機構が2012年6月に発行した冊子「人を助きたい」の表紙を飾りました。

## 復興商店街「気仙沼南町紫市場」も応援しています。



商店街のシンボルマーク  
南町のMと人々の団結を  
表している

東日本大震災で被災した商店主らが開設した仮設商店街。津波で壊滅した宮城県気仙沼市の商店街は被災地で最大級の約50店が入居する。多目的スペースを運営し、独自の復興プラン検討にも意欲的という評価で、2012年の「日経優秀製品・サービス賞」を受賞しました。



建設前の敷地



2011.12 グランドオープン



仮設商店街が7棟建つ



2012.12 オープン1周年イベント



南町1区自治会長・千葉氏

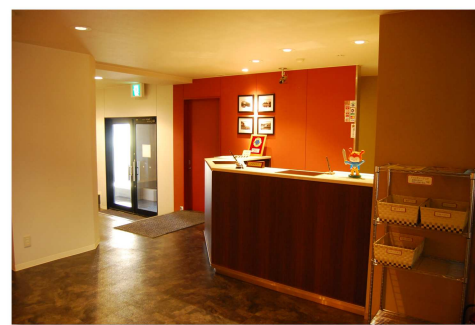


2013.6 東北応援ひかりツアーで訪れる

## ホテルー景閣の復興のお手伝いもボランティアで。



2012.5.15 待望の仮オープン



リニューアルされた一景閣 (2013.6.23 撮影)



6階のテラスからは気仙沼湾を見渡せる (気仙沼湾の向こう側は唐桑半島と大島)

## 東北応援ひかりツアー

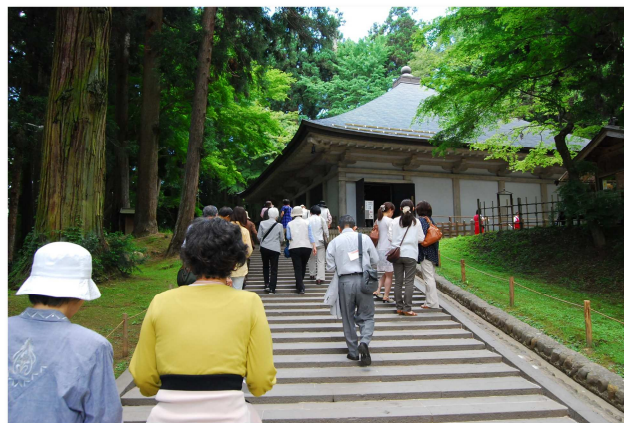
被災地を実際に見て、現地の方々と触れ合うツアーを行いました

期日：2013年6月22～23日

コース：[第1日] 東京 ⇒ 一ノ関 ⇒ 中尊寺 ⇒ 津波体験館 ⇒ 陸前高田 ⇒ 気仙沼・一景閣（会食・宿泊）

[第2日] 気仙沼教会（参拝・教話） ⇒ 五右衛門が原仮設住宅（交流会） ⇒ 南町紫市場（昼食・買い物） ⇒ 南三陸町防災庁舎 ⇒ くりこま高原 ⇒ 東京

参加者：53名



最初に立ち寄った世界遺産・中尊寺。ツアーの成就を祈る



津波体験館館長さんのお話



陸前高田の追悼施設での祈り



「御霊追悼の祈り」を奉唱



ホテル一景閣での会食・懇親会



◁津波に倒されずに残った「奇跡の一本松」



仮設住宅での交流会（お茶っこ）



気仙沼湾をのぞみ祈りを捧げる



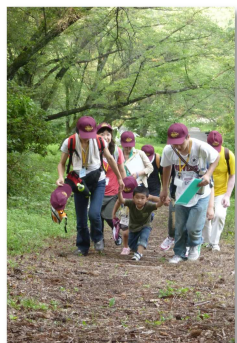
南三陸町防災庁舎で祈りを捧げる



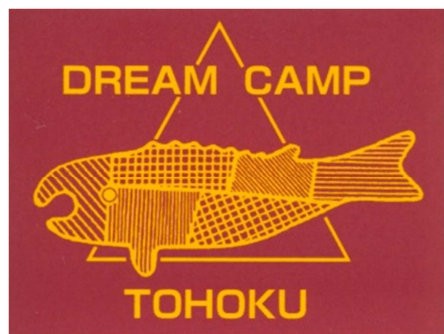
2日目に訪れた「気仙沼南町紫市場」。買い物も大事な支援の一つ

## 第1回東北ドリームキャンプ

昨年7月27～29日、岩手県花巻市戸塚の森森林公園において、はじめて「第1回東北ドリームキャンプ」が行われました。参加者：82名



ハイキング



キャンプシンボルマーク



アスレチックで冒険



ホットドッグを焼く



友情の輪



全員で記念撮影

## 第2回東北ドリームキャンプ

今年7月26～28日、岩手県奥州市衣川ふるさと自然塾において、「第2回東北ドリームキャンプ」が行われました。参加者：112名



3日間お世話になったコテージ



応急プールで魚つかみ



ホットドッグを作る



感想文を読みあう子供たち



3日目、やっと晴れ間が見え、外で記念撮影。

気仙沼市南町周辺の被災状況と今の様子をご覧ください。

## ◆気仙沼市南町3丁目



2011.5.1 震災直後

地盤沈下のため海水で道路が冠水



2012.5.3

嵩上げをして道路の冠水はなくなったが・・・



2013.6.23 現在

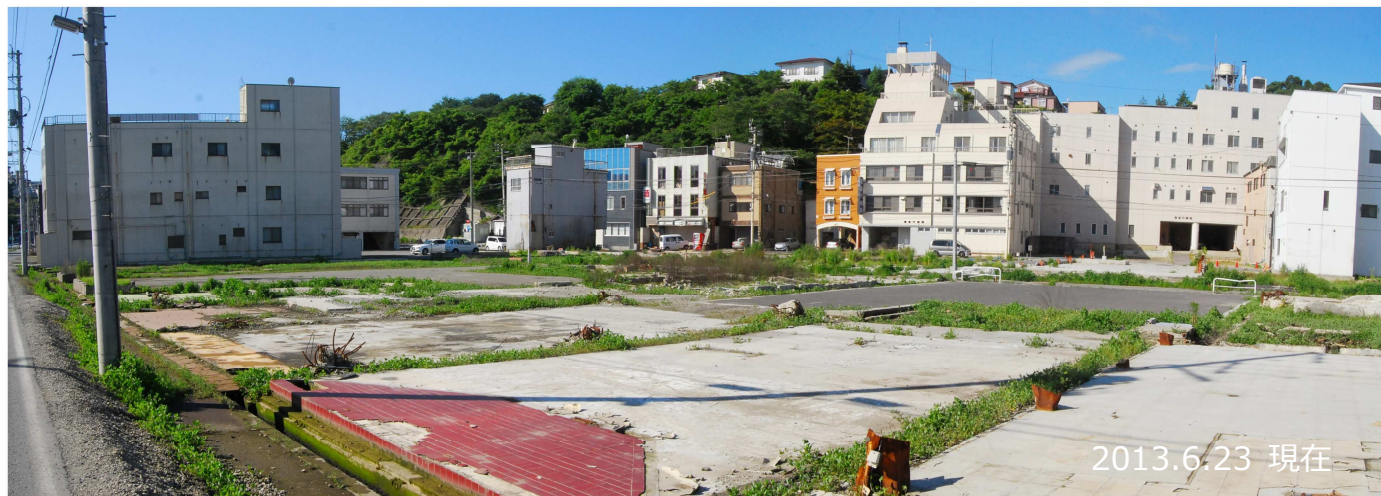
エースポート（気仙沼観光棧橋）の建物をはじめ、周辺の建物が解体された

## ◆気仙沼市南町3丁目



2011.5.1 震災直後

木造建物はすべて流され、基礎だけが残る



2013.6.23 現在

がれきは撤去、道路は嵩上げされたが、復興計画が進まず空き地のまま

## ◆気仙沼市南町2丁目



2011.5.1 震災直後

がれきが散乱し道路をふさぐ



2012.8.17

近くに復興商店街ができ、空地は駐車場に。建物（一番町パーキング）は被災当時のまま



2013.6.23 現在

ようやく建物の復旧工事が始まった

## ◆気仙沼市南町3丁目



震災前の横丁  
喫茶「マンボ」もあり  
ました



2011.4.7.震災直後

がれきが散乱



2011.11.3

がれきは撤去されたが、建物はそのまま



2013.6.23 現在

建物は撤去され、空き地には草が青々と・・・

## ◆気仙沼市魚町



震災前の建物  
男山本店  
ホームページより



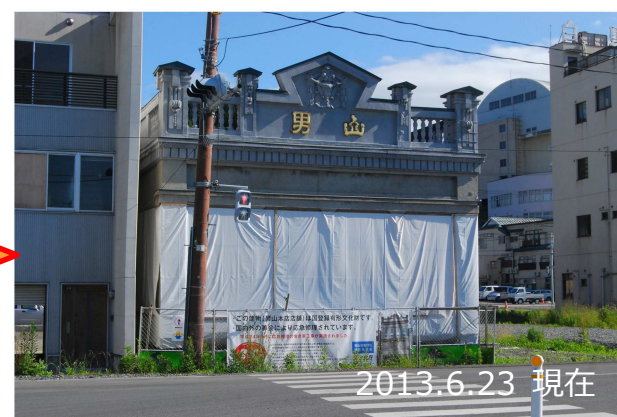
2011.5.1 震災直後

1932年に建てられた国の登録有形文化財にもなっていた木造三階建ての地酒・男山本店本社屋の建物。建物の1,2階の倉庫が津波で流出



2012.5.3

周りのがれきは撤去されたが、傾いた建物はそのまま



2013.6.23 現在

国内外の募金で2012年9月に曳き家により移動。応急修理がなされている（電柱と建物の位置に注目）

## ◆気仙沼市弁天町 1丁目



2011.3.24 震災直後

震災直後のホテル一景閣。2階まで津波が来た



2011.8.17

周辺の地盤沈下により海水があがり、復旧が進まない



2013.6.23 現在

2012年5月に仮オープンし、営業を再開。「東北応援ひかりツアー」でお世話になった

## ◆気仙沼市仲町 2丁目（正面奥が南気仙沼駅）



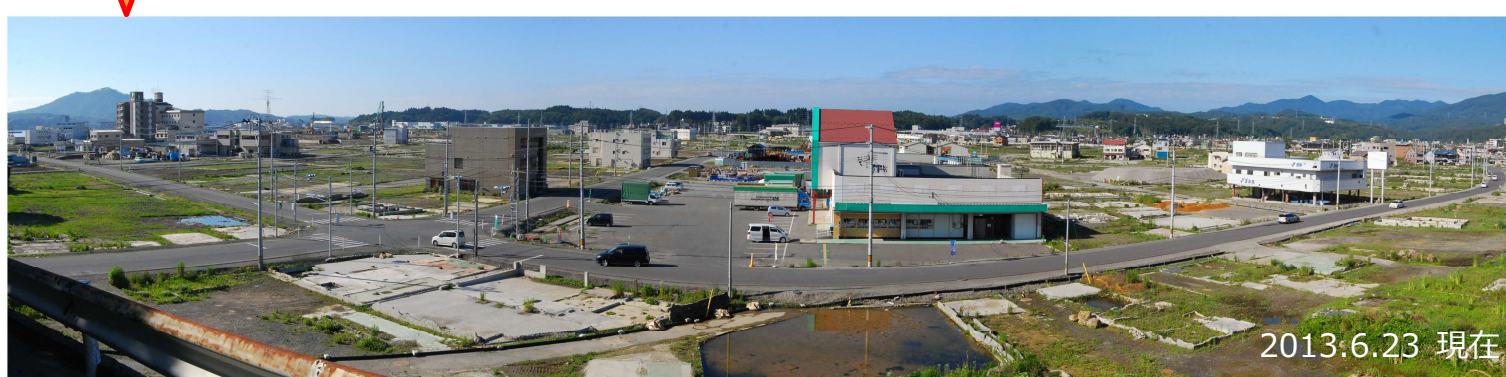
2011.3.22 震災直後

津波で押し流された家屋



2012.5.5

がれきは撤去され、建物の基礎だけが残る。雨が降ると水がはけない



2013.6.23 現在

少しずつ建物が撤去され、空き地には草が青々と・・・